

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年12月 7 日

【計算期間】 第22期（自 平成20年10月28日 至 平成21年 4 月27日）

【ファンド名】 ピクテ欧州ファンドAコース（限定為替ヘッジ）
ピクテ欧州ファンドBコース（為替ヘッジなし）

【発行者名】 ピクテ投信投資顧問株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 ギャビン・シャープ

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 1 号

【事務連絡者氏名】 佐藤 直紀

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 1 号

【電話番号】 03-3212-3411

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年7月24日付をもって提出した有価証券報告書の記載事項のうち、訂正すべき事項がありますのでこれを訂正するものであります。

【訂正内容】

以下の内容に訂正します。

第二部【ファンドの詳細情報】

第4 【ファンドの経理状況】

< 前略 >

1 【財務諸表】

【ビクテ欧州ファンドAコース（限定為替ヘッジ）】

< 中略 >

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第21期 自 平成20年4月29日 至 平成20年10月27日	第22期 自 平成20年10月28日 至 平成21年4月27日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託受益 証券の基準価額で評価しております。	親投資信託受益証券 同左
2. デリバティブ等の評価基準及び 評価方法	為替予約 為替予約の評価は、原則として、わが 国における計算期間末日の対顧客先 物売買相場の仲値によって計算して おります。	為替予約 同左
3. その他財務諸表作成のための基 本となる重要な事項	(1) 外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規 則」(平成12年総理府令第133号)第60 条、61条に基づいて、外貨建取引の記 録、及び外貨の売買を処理してありま す。 (2) 計算期間期首の取扱い 信託約款第43条により、平成20年4月 27日が休日のため、当計算期間期首を 平成20年4月29日としております。こ のため当計算期間は182日となっております。	外貨建取引等の処理基準 同左

(貸借対照表に関する注記)

区分	第21期 (平成20年10月27日現在)	第22期 (平成21年4月27日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	1,268,527,640円	1,106,350,091円
期中追加設定元本額	16,106,266円	15,475,871円
期中一部解約元本額	178,283,815円	206,711,360円
2. 計算期間末日における受益権の 総数	1,106,350,091口	915,114,602口
3. 元本の欠損	貸借対照表上の純資産額が元本総額 を下回っており、その差額は 614,642,124円であります。	貸借対照表上の純資産額が元本総額 を下回っており、その差額は 490,220,733円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第21期 自 平成20年4月29日 至 平成20年10月27日	第22期 自 平成20年10月28日 至 平成21年4月27日
----	---------------------------------------	---------------------------------------

1. 主要投資対象である親投資信託受益証券において、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用	当該親投資信託受益証券に係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の額の年率0.29%相当額	同左
2. 分配金の計算過程	計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(10,764,482円、ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(132,912,184円)及び分配準備積立金(99,920,115円)より分配対象収益は243,596,781円(1万口当たり2,201.78円)であります、分配は行っておりません。	計算期間末における解約に伴う当期純損失金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(5,510,883円、ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含む)、解約に伴う当期純損失金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(0円)、信託約款に規定される収益調整金(111,267,176円)及び分配準備積立金(90,455,145円)より分配対象収益は207,233,204円(1万口当たり2,264.54円)であります、分配は行っておりません。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

第21期(平成20年10月27日現在)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	375,598,902円	455,590,393円
合計	375,598,902円	455,590,393円

第22期(平成21年4月27日現在)

種類	貸借対照表計上額	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	432,880,245円	35,695,937円
合計	432,880,245円	35,695,937円

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の状況に関する事項

区分	第21期 自 平成20年4月29日 至 平成20年10月27日	第22期 自 平成20年10月28日 至 平成21年4月27日
1. 取引の内容	ファンドの利用しているデリバティブ取引は、為替予約取引であります。	同左
2. 取引に対する取組方針	デリバティブ取引は、将来の為替の変動によるリスク回避を目的としており、投機的な取引は行わない方針であります。	同左
3. 取引の利用目的	デリバティブ取引は、外貨建資産の為替変動リスクを回避し、安定的な利益の確保を図る目的で利用します。	同左
4. 取引に係るリスクの内容	為替予約取引に係る主なリスクは、為替相場の変動により発生する為替変動リスクと、取引相手の信用状況の変化により発生する取引先信用リスクであります。	同左
5. 取引に係るリスク管理体制	デリバティブ取引の管理・執行については、信託約款、法令等及び取引権限・取引限度額等を定めた社内ルールに従い、管理はコンプライアンス部門が、執行は担当者が運用部の承認を得て行っております。	同左

6. 取引の時価等に関する事項についての補足説明	取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	同左
--------------------------	---	----

取引の時価等に関する事項

通貨関連

第21期(平成20年10月27日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引				
	売建				
	イギリスポンド	158,434,173	—	122,834,053	35,600,120
	スイスフラン	52,224,634	—	44,077,860	8,146,774
	スウェーデンクローネ	17,517,587	—	13,111,124	4,406,463
	ノルウェークローネ	8,243,987	—	6,034,855	2,209,132
	デンマーククローネ	7,706,298	—	5,995,103	1,711,195
	ユーロ	262,269,266	—	204,441,599	57,827,667
合計		506,395,945	—	396,494,594	109,901,351

第22期(平成21年4月27日現在)

区分	種類	契約額等(円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引 以外の取引	為替予約取引				
	売建				
	イギリスポンド	126,649,295	—	131,725,911	5,076,616
	スイスフラン	55,495,198	—	56,069,618	574,420
	スウェーデンクローネ	13,543,686	—	13,589,044	45,358
	ノルウェークローネ	4,067,294	—	4,087,430	20,136
	デンマーククローネ	5,627,918	—	5,587,691	40,227
	ユーロ	226,635,415	—	225,057,765	1,577,650
合計		432,018,806	—	436,117,459	4,098,653

(注)時価の算定方法

・為替予約取引

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

(1) 計算期間末日において予約為替の受渡日(以下、当該日という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2) 計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値を元に算出したレートにより評価しております。

計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

2. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値により評価しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(一口当たり情報に関する注記)

区分	第21期 (平成20年10月27日現在)	第22期 (平成21年4月27日現在)
一口当たり純資産額 (一万口当たり純資産額)	0.4444円 (4,444円)	0.4643円 (4,643円)

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

株式

該当事項はありません。

株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額(口)	評価額(円)	備考
親投資信託 受益証券	ピクテ欧州ファンド・マザーファンド	633,143,550	432,880,245	
合計		633,143,550	432,880,245	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。

第4 不動産等明細表

該当事項はありません。

第5 その他特定資産の明細表

該当事項はありません。

第6 借入金明細表

該当事項はありません。